

データサイエンス・ラボ

ラボの課題

学外の公開コンペとして開催される「統計グラフコンクール」や「データ解析コンペティション」に参加し、そこで課される実データに基づく課題を解決する。例えば、前者では社会問題の解決、後者では、地域活性化の施策提案や与えられたビッグデータ（購買データやスポーツデータなど）からの戦略構築などに取り組み、知見の導出や問題解決をめざす。

春学期の活動報告

●統計・Rの基礎知識

ゼミ所属後は、統計に関する知識を深めるために、教科書を用いて統計学の基礎勉強を行った。各自担当する章を決め、統計解析ソフトRを使用したデータ分析の手法を学んだ。

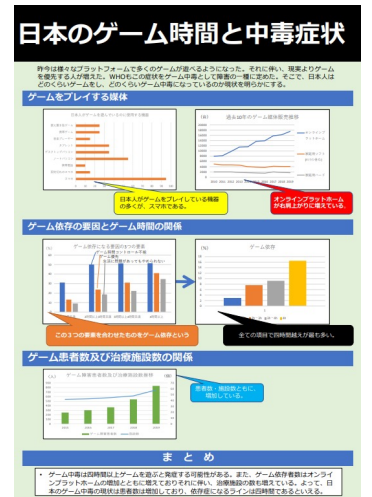
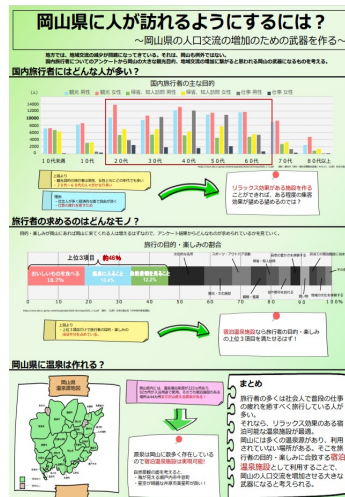
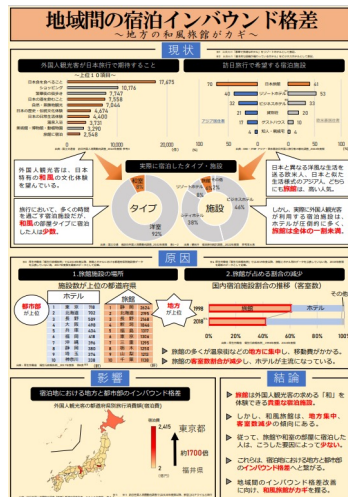
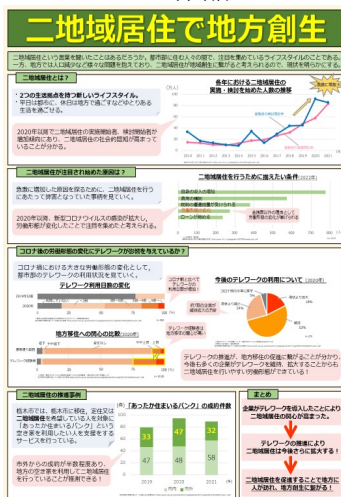
●統計グラフコンクール作品制作

入賞作品の分析から、それぞれ個人でテーマを決め、統計グラフコンクールの作品制作を開始した。制作過程の中で先輩方に何度も添削を行ってもらい、客観的な視点から自分の作品を振り返り、試行錯誤を繰り返すことで、より良い作品に仕上げていった。

●データ分析コンペティションに向けて

グラフコンクールの個人作成という段階から、複数人で一つの分析する段階にステップアップする。

<ゼミ生の作品>



今後の計画・目標

夏休みからデータ解析コンペティションに参加するため、グループワークを中心に活動をしていく。具体的には、分析手法の勉強を増やし、テーマ決めてデータ収集、目的に応じた分析を行い、コンペティション出展、入賞を目指す。参加予定コンペは、「和歌山県データ活用コンペティション」と「スポーツデータサイエンスコンペティション」である。

担当教員：森裕一 所属学生4名
ポスター制作：小野公之

